

## 1. 包括的支援事業

## (1)総合相談支援

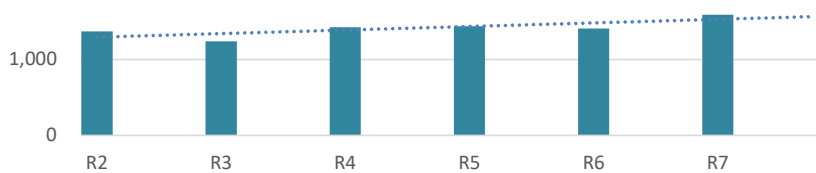
高齢者の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における保健・医療・福祉サービス等の利用につなげる支援を実施する

## ①相談件数(延べ件数)

(件)

総合相談支援 延べ件数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(R8)
	1,368	1,237	1,423	1,439	1,410	1,590	1,700

(グラフ)年度別相談対応延べ件数(件)



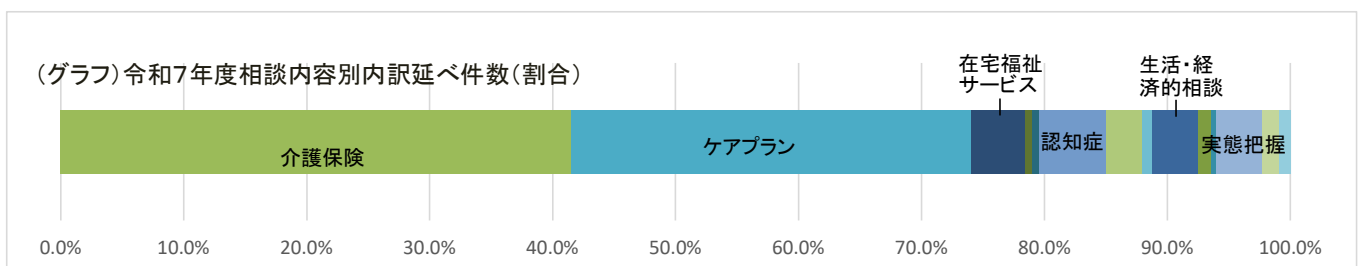
○総合相談窓口として、高齢者支援センターを「介護なんでも相談室」とわかりやすい名称をつけ、PRチラシを作成。様々な場面で周知を行っている。

## ②相談内容別内訳(延べ件数)

(件)

年度	介護保険	ケアプラン	在宅福祉サービス	民間サービス	介護予防	認知症	高齢者虐待	権利擁護	生活・経済的相談	障害	ひきこもり	実態把握	困難事例	その他	計
令和6年度	791	224	22	16	67	115	36	37	50	29	3	143	35	31	1,599
令和7年度	723	567	76	10	10	95	51	15	64	19	7	65	24	16	1,742

(グラフ)令和7年度相談内容別内訳延べ件数(割合)



## ③実態把握「お達者ですか訪問事業」

目的:孤立化の可能性がある高齢者を早期に把握し、必要な支援につなぐとともに、地域の課題やニーズを把握する。

対象者:75歳以上で健診、医療、介護保険サービスをいずれも利用していない人のうち、一人暮らし、高齢者のみ世帯、

年度	訪問数 合計	内訳		
		支援不要 (地域対応可能)	要支援 (地域対応可能だが要注意)	公的サービス必要
令和5年度	29人	20人(69.0%)	9人(31.0%)	0人(0%)
令和6年度	47人	35人(74.5%)	9人(19.1%)	3人(6.4%)
令和7年度	31人	7人(22.5%)	5人(16.1%)	2人(6.4%)

(17名については今後支援検討会議実施予定)

○支援の必要な方については、介護予防事業(通所型サービスや地域つながりサロン等)へつないだり、必要に応じて民生委員と情報共有し、見守り支援につなげた。

(2) 権利擁護

成年後見制度の活用促進、高齢者虐待への対応など

			令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(R8)
成年後見	相談・対応	実人数(人)	9 人	15 人	13 人	10 人
		延件数(件)	延 20 件	延 29 件	延 17 件	—
	町長申立て	件数(件)	0 件	2 件	2 件	—
高齢者虐待	虐待通報	件数(件)	14 件	6 件	14 件	15 件
	虐待認定	件数(件)	14 件	6 件	11 件	—
	相談・対応	延件数(件)	延 81 件	延 36 件	延 45 件	—
消費者被害	相談・対応	実人数(人)	0 人	8 人	0 人	—
		延件数(件)	延 0 件	延 8 件	延 0 件	—

○成年後見では、制度について知りたいという相談や、親族がいても関係性が希薄であり協力が得られないケースの相談が多かった。制度に関心を持つ方が増えており、普及啓発に努めたい。

○高齢者虐待では、日常生活に介助が多く必要な方や認知症のある方に対する虐待が多く見られ、ケアマネジャーや介護サービス事業所、医療機関と連携し対応した。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域ケア会議等を通じた自立支援型ケアマネジメントの支援、個別課題、地域課題の検討と支援

ケアマネジャーへの日常的な個別指導・相談、支援困難事例等への指導・助言

事業内容			令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(R8)
地域ケア会議 (個別課題・地域課題の検討)	目標設定会議	自立支援に基づき、利用者の「自己実現」「心身機能及び生活機能の維持・向上」「活動・参加」に焦点を当てた支援方針を多職種で検討する。	開催: 9回 件数: 18件 ※地震の影響によりR6.1~3月中止	開催: 12回 件数: 24件	開催: 12回 件数: 24件	件数: 24件
	個別会議	高齢者が地域で生活する上での課題を解決するため、地域の関係者や専門職と連携し、個別の支援策を検討する。	件数: 6件	件数: 3件	件数: 3件 (延べ4件)	件数: 6件
	地域ケア推進会議	目標設定会議、個別会議から抽出された地域課題を共有し、課題を解決するための対策を検討する。	開催: 1回	開催: 1回	開催: 1回	
居宅介護支援事業所連絡会			3回	7回	6回	3回
<b>■内容(R7年度)</b> 5月28日 事業所連絡会(オンライン開催) 15名 8月7日(鹿西地区)、8月8日(鳥屋地区)、8月9日(鹿島地区)…民生委員との合同研修会 延べ31名 10月23日、R8年2月12日 相談支援専門員との合同研修会(七尾市と合同)※七尾市連絡会所属除く 延べ19名 12月15日 ヤングケアラー研修会 16名						
介護保険サービス事業所連絡会(居宅・通所・訪問系)			1回	1回	1回	2回
<b>■内容(R7年度)</b> 5月27日 事業所連絡会(オンライン開催) 24事業所 31名参加 長寿福祉課・高齢者支援センター連絡事項、事業所間の意見交換						
介護支援専門員(ケアマネジャー)の個別支援	・居宅(介護予防)サービス計画の作成への助言 ・サービス担当者会議の開催支援及び助言 ・個別指導、相談への対応	延171件	延211件	延184件	延150件	

○地域ケア会議で傾聴ボランティアを望む声が多数あり、社会福祉協議会と情報共有した結果、今年度、社会福祉協議会で傾聴ボランティア養成講座開催された。

○ケアマネジャーへの個別支援の内容では、介護認定結果が出る前の同行や、継続的な相談支援が増えている。

#### (4) 地域ネットワークの構築

地域のあらゆる社会資源を活用して、地域における重層的な支援体制を構築する

#### 令和7年度事業内容

民生児童委員及び地域福祉推進チームとの連携
民生児童委員地区定例会への参加、個別ケースの相談対応 地域福祉推進チームの強化(福祉見守りマップ作成の普及)
地域密着型サービス事業所運営推進会議への出席
・グループホームなごみの里鹿島 ・グループホームしあわせの里 ・グループホーム一青の家 ・第二鹿寿苑・グループホーム鹿寿苑 ・認知症対応型デイサービスひまわり ・笑顔の友の会(6地域密着型サービス事業所合同) ・ぐるーぷほーむ・たきのーほーむ福の神、コールナウ福の神 (羽咋市)
まるごと福祉支援協議会(高齢者・障害者虐待防止ネットワーク)
<b>■全体会議 [開催回数:1回]</b> 中能登町まるごと福祉支援協議会は、『中能登町地域福祉計画』の趣旨を踏まえ、誰もが住み慣れた地域で暮らせるよう、地域共生社会の実現に向け、あらゆる福祉に関する課題について、まるごと協議し、必要な施策を、総合的かつ計画的に実施を推進する。  開催日:令和7年6月25日(行政サービス庁舎)
<b>■権利擁護部会 [開催回数:1回]</b> 誰もが住み慣れた地域で、地域の人々と支えあいながら、尊厳をもってその人らしい生活を継続するために、認知症の人や障がいのある人に対する地域住民の理解や、相談体制の充実を図り、誰でもなんでも「丸ごと」支えあう仕組みづくりや、権利擁護支援の地域連携ネットワークを構築する。  開催日:令和8年3月12日(行政サービス庁舎) 内 容:R7年度活動の振り返り、R8活動について等についての意見交換等
<b>【権利擁護セミナー】</b> 開催日:令和7年12月14日(ラピア鹿島) 内 容:成年後見制度について 講 師:弁護士、中能登町まるごと福祉支援協議会アドバイザー 北島正悟氏 参加者:17名
<b>【その他活動】</b> ・広報なかのと:全体会議(R7.8)、成年後見制度(R7.9)、虐待啓発(R7.11) ・出前講座:①新庄老人会(11月18日:33人)
<b>■生活支援部会 [開催回数:1回]</b> 高齢者やその家族が、住み慣れた地域で自分らしく暮らすためには、適切な介護や福祉サービスの提供はもちろん、地域にある様々な社会資源を活用する必要があるため、公的サービスでは対応しきれない生活支援の仕組みづくりや、地域組織・商店との連携、当事者同士が相談できる体制づくりなどの推進を目指すことを目的に『生活支援部会』を実施する。  開催日:令和7年12月4日(「なかのと結び隊サポーター連絡会」との合同会議/社会福祉協議会事務局で実施) 内 容:有償ボランティア活動の状況や事例報告を行った。 グループワークで、買い物支援のやり方の検討、チラシの見直しを検討した。
<b>【その他活動】</b> ・生活支援コーディネーターパネル展示&寸劇DVD鑑賞(R7.9月福祉のつどい) ・町広報なかのとで紹介(R8.2月)

○権利擁護部会については、成年後見制度についての町民向けセミナーを開催した。参加者からは「事例を交えた講義で分かりやすかった」「家族で話し合いたい」等の感想が寄せられた。また地域から出前講座の依頼もあり、制度の普及啓発に取り組んだ。

○生活支援部会については、有償ボランティアなかのと結び隊サポーター連絡会と合同開催し、新たに買い物支援をメニュー化するための仕組み作りを話し合い、サポーターが活動しやすいよう検討した。

(5)在宅医療・介護連携推進事業

地域の医療と介護の関係機関が連携し、在宅医療と介護が一体的に継続して提供できる体制を構築する

中能登訪問看護ステーションに業務委託し、在宅医療と介護の連携及び相談支援の体制強化を図っている

令和7年度事業内容

在宅医療・介護連携に関する相談支援	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(R8)	・ケアマネジャー、医療機関などからの相談が多い ・支援内容としては、退院調整、医療機関と在宅医療・介護との調整など	
	相談件数	57件	86件	93件	75件		
	訪問件数	23件	27件	25件			
住民への普及啓発	<p>○6月28日 自分らしく生きる明日のためにどんな居場所があったらいいのだろう 山中しのぶ氏講演会、パネルディスカッション (対象者) 一般住民、関係機関など 約200名参加</p> <p>○11月24日 在宅医療県民公開講座「ぼけますから、よろしく願います」上映会、パネルディスカッション (対象者)一般住民 446名参加</p> <p>○町の出前講座 テーマ:「人生会議と震災」 4団体 〔 6/18西馬場友ゆう会 6/26川原・若草サロン 10/8廿九日健康サロン 2/2たんぽぽの会 〕</p>						
医療・介護関係者の情報共有の支援	<p>○急変時の情報連携 民生委員に協力をいただき、『緊急ファイル』の設置者約700名の地区別名簿の情報を更新した。</p>						
多職種研修会・事例検討				令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(R8)
あじさい会(中能登町在宅医療介護連携を考える会)研修会				5回	5回	7回	8回
<p>■内容</p> <p>役員会(コアメンバー会議) 年1回</p> <p>在宅医療介護連携協議会 年1回</p> <p>講演会・研修会 年7回</p> <p>5月29日 研修会「在宅の栄養を学ぼう～糖尿病と腎臓病の食事について～」</p> <p>7月9日 研修会「糖尿病の日頃の疑問を聞いてみよう」</p> <p>9月24日 研修会「認知症の方の暮らしについて」</p> <p>10月30日 研修会「施設での看取りについて」</p> <p>12月7日 居場所づくりフォーラム「誰もが生きやすい社会にむけて」</p> <p>1月22日 研修会「虐待とネグレクトの背景は？」</p> <p>3月12日予定 研修会「ひきこもり支援について」</p>							

○研修会等の開催や住民への普及啓発活動を通じて、医療・介護関係者間での顔の見える関係性を構築することができた。  
また、震災の振り返りから、災害発生時に在宅療養者への医療・介護サービスの提供を継続するため、地域全体の事業継続計画(BCP)作成に取り組んでいる。

※事業継続計画(BCP)とは…災害などの緊急事態における企業や団体の事業継続計画。目的は、自然災害など危機的な状況に遭遇した時に、損害を最小限に抑え、重要な業務を継続し早期復旧を図ること。

(6) 認知症施策の推進

事業内容			令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値 (R8)					
事業名	内容	回数など									
認知症に関する講座	出前講座にて、認知症予防についての普及啓発を行う。	開催回数	2回	3回	4回	5回					
		参加実人数	22人	54人	67人						
認知症サポーター養成講座 ※認知症サポーター：認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者	認知症キャラバンメイトによる講座	開催回数	13回	8回	7回	8回					
	・一般向け講座 ・出前講座 ・鹿西高校1年生 ・各小学校4年生(3校)	参加実人数	340人	243人	237人	300人					
	※認知症キャラバンメイト：認知症の普及啓発を行う者 ※認知症キャラバンメイト町内登録者：22人	認知症サポーター数	3,570人	3,812人	4,036人	4,470人					
認知症サポーターステップアップ講座	認知症サポーターのスキルアップ及び情報交換、交流	開催回数	1回	1回	0回	1回					
		参加実人数	9人 (うち修了者9人)	4人 (うち修了者1人)	-						
認知症初期集中支援チームによる支援	認知症の人及びその家族に対し、必要な初期支援を集中的に行い自立に向けた支援を行う。	開催回数	-	1回		2回					
		検討ケース	-	1							
認知症地域支援推進員	認知症カフェの運営、認知症相談支援、関係機関との連携を行う。 (推進員：高齢者支援センター、GH一青の家、社協居宅、鹿寿苑居宅、GHなごみの里、認知デイひまわり)	推進員数	5人	7人	7人	6人					
認知症カフェ【R8目標値】 4か所	青空カフェ (運営：なかのと若年性認知症家族の会)	開催回数	7回	9回	9回	4か所					
		参加延人数	94人	124人	149人						
	カフェひととき (運営：グループホーム一青の家)	開催回数	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催								
		参加延人数									
	ひだまりカフェ (運営：認知症対応型デイサービスひまわり)	開催回数					※新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催				
		参加延人数									
高齢者等安心ネットワーク事業 認知症等で行方不明になるおそれのある高齢者を事前登録し、行方不明時に情報を協力機関に発信し、可能な範囲で捜索に協力してもらい、出来るだけ早く発見し保護するための仕組み。また、地域の高齢者のゆるやかな見守りも兼ねている。	事前登録者	15人 (うち新規登録5人)	14人 (うち新規登録2人)	12人 (うち新規登録2人)	15名						
	協力機関	53か所	53か所	51か所	75か所						

○認知症事業に関連して、11月にアル・プラザ鹿島で認知症啓発イベント「なかのとオレンジフェスタ」を開催した。当日はセンター職員やチームオレンジなかのとみかんサポーター、認知症地域支援推進員等が会場スタッフとなり、パネル展示や認知症チェックコーナー等のスタンプラリーを行い、100名以上の来場となった。

○認知症サポーターステップアップ講座は今年度実施しなかったが、7月にチームオレンジなかのとみかんのスキルアップ研修の一環として「認知症VR体験」を実施し、66名が参加した。

(7)生活支援体制整備

生活支援コーディネーターを社会福祉協議会・高齢者支援センターに各1名ずつ配置し、地域の高齢者の生活支援のニーズを把握し地域における支え合いの体制づくりを推進する

委託先:中能登町社会福祉協議会

取り組み		事業内容			実施状況
地域の資源の見える化	社会福祉協議会ホームページ「高齢者お役立ち情報」を活用した情報提供と活用	・お役立ち情報の更新 ・社協広報誌にて周知			年1回
	地域福祉推進チームの活動支援	福祉見守りマップを推進チームで作成し、地区の見守り体制のあり方や生活課題をメンバーで協議し共有する。 ※「福祉のつどい」「民生委員向け勉強会」などで告知する。 【見守りマップ作成支援】			
関係者のネットワーク		令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(R8)
		12 件	12 件 〔 新規 2 件 更新 10 件 〕	13 件 〔 新規 2 件 更新 11 件 〕	8 件
	生活支援に関する協議会の設置・運営(中能登町まるごと福祉支援協議会生活支援部会)	「なかのと結び隊サポーター連絡会」と合同開催。有償ボランティアの活動状況や事例報告、活動の振り返りや新しい活動の意見出しを行った。			1回 (R7.12/4)
サービスのマッチング	フードドライブ(集める) & パントリー(受け取る)	ひとり親世帯、在宅介護世帯、生活保護受給者、その他生活支援が必要な世帯への生活支援として、各家庭で不要となった食品を集め、必要な方へ配布する。			
			令和5年度	令和6年度	令和7年度
		介護用品券配布 1回 (R7.3月鹿寿苑に寄付) ・フードドライブ 4回 (R7.4月、7月、10月、12月) ・フードパントリー 2回 (R7.8月、12月)			
	パントリー	2回開催	1回目 61世帯 2回目 91世帯	1回目 52世帯 2回目 51世帯	
生活支援サービスの創出	「なかのと結びネット」の活用	災害時や生活困窮者への支援のために、食品や日用品等の寄付を迅速に呼びかけるためのネットワーク体制を整備する。			
			令和5年度	令和6年度	令和7年度
		会員数	55人	49人	49人
	個別案件	2件	0件	1件	
	なかのと結び隊(有償ボランティア)の取り組み	地域の生活課題などの、ちょっとした困りごとを「有償ボランティア」を活用して解決を目指す。 ・安定したサポーターの確保 サロン連絡会等で告知/地域向け養成講座の実施			
サポーター数		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		36人	38人 (+4/-2)	50人 (+16/-4)	
		1事業所	1事業所	1事業所	
	地域への定着:地域ニーズとサポーターをマッチングしサービスに繋げている。ケアマネ等の支援者や民生委員、地域福祉推進チーム(見守りマップ作成時)に周知を行っている。 【有償ボランティア活動件数】				
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値(R8)	
	延 137 件	延 193 件	延 353 件	延 250 件	
	・普及活動 ①家庭学習用のDVD教材の貸出(随時) ②福祉のつどいでパネル展示、DVD教材鑑賞(R7.9月) ③町広報なかのとで紹介(R8.2月)				

○なかのと結び隊(有償ボランティア)は、R6.3月から本格稼働し、サポーターの登録人数や活動件数は伸びている状況である。引き続き、全地区にサポーターが配置できるよう、社会福祉協議会と連携して安定したサポーター確保に努める。

○地域福祉推進チームに対し「福祉見守りマップの作成支援」を行い、地区の中で支援が必要な方などを情報共有し、平時からの見守りや災害時に役立てるよう支援を行った。

## 2. 指定介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント

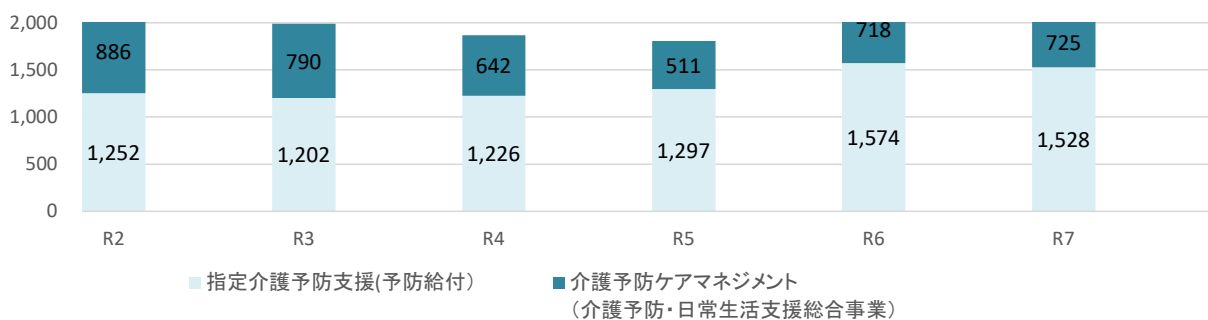
高齢者の自立支援を目的として、心身の状況、その置かれている環境、その他の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき介護予防に向けたケアマネジメントを行う

### (1) 給付件数(延べ件数)

(件)

	R2	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (R8)
指定介護予防支援(予防給付)	1,252	1,202	1,226	1,297	1,574	1,528	1,464
介護予防ケアマネジメント (介護予防・日常生活支援総合事業)	886	790	642	511	718	725	600

(グラフ)年度別給付件数(件)



○ 指定介護予防支援と介護予防ケアマネジメントのどちらも件数が増加している。

※指定介護予防支援とは…指定介護保険事業所(通所リハビリ、訪問リハビリ、訪問看護、福祉用具など)の利用者に行うもの。また、総合事業を組み合わせ利用している場合も含まれる。

※介護予防ケアマネジメントとは…総合事業のみ(訪問型サービスと通所型サービスのどちらか、または両方)の利用者に行うもの。

### (2) 令和7年度月別給付件数(延べ件数)

#### ① 指定介護予防支援(予防給付)

対象者: 要支援1・2と判定され、介護保険のサービスを利用している方。

(件)

事業所/利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センター	38	39	43	52	48	54	53	53	51	48	54	—	533
(委託)居宅介護支援事業所	98	104	91	85	81	86	86	88	90	95	91	—	995
計	136	143	134	137	129	140	139	141	141	143	145	—	1,528

#### ② 介護予防ケアマネジメント(介護予防・日常生活支援総合事業)

対象者: 要支援1・2、事業対象者と判定され、訪問型サービス・通所型サービスのみ利用している方。

(件)

事業所/利用月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
地域包括支援センター	17	18	26	27	28	26	35	31	30	27	22	—	287
(委託)居宅介護支援事業所	41	42	44	42	41	40	38	39	37	37	37	—	438
計	58	60	70	69	69	66	73	70	67	64	59	—	725

○委託先事業所の休止やケアマネジャーの退職が相次ぎ、委託件数が減り、センターで担当する件数が増加している。引き続き、高齢者が地域において自立した生活を送ることを支援し、介護予防サービス・支援計画を作成する。

### 3. 介護予防・日常生活支援総合事業

#### (1) 介護予防・生活支援サービス事業

地域の実情に応じて、住民等の多様な団体などが参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等の方に対する支援を行う

事業内容	令和5年度			令和6年度			令和7年度			目標値(R8)		
	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数
訪問型サービス												
1) 現行相当サービス	通年	—	181人	通年	—	217人	通年	—	236人	通年	—	300人
2) 訪問型サービスA(緩和した基準によるサービス) 委託先:シルバー人材センター	通年	—	90人	通年	—	111人	通年	—	187人	通年	—	36人
通所型サービス												
1) 現行相当サービス	通年	—	914人	通年	—	1,122人	通年	—	1,161人	通年	—	1,200人
2) 通所型サービスC(短期集中予防サービス) ※集団支援 (事業名)あたま・あしこし元気アップ教室 (対象者)事業対象者、要支援1・2 (実施内容)リハビリ職による体操支援	26回 (13回 2クール)	17人	197人	26回 (13回 2クール)	12人	139人	26回 (13回 2クール)	14人	161人	通年	16人	
その他の生活支援サービス												
1) 訪問・通所一体型サービス(短期集中予防サービス)事業 (事業名)「スーパー元気アップ塾」 ※個別支援 (対象者)事業対象者、要支援1・2 (実施内容)訪問支援(リハビリ職が自宅へ訪問)と通所支援(通所でのリハビリ職による個別体操支援)の組み合わせ	最大 6か月	7人	200人	最大 6か月	5人	67人	最大 6か月	3人	42人	最大 6か月	12人	
							※R7年度からは訪問支援のみ					

#### (2) 一般介護予防事業

住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、リハビリテーション専門職を活かした自立支援に資する取組を推進し、要介護状態になっても、生きがい・役割を持って生活できる地域を構築することにより、介護予防を推進する

事業内容	令和5年度		令和6年度		令和7年度		目標値(R8)	
	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数
介護予防普及啓発事業								
1) 介護予防に関する講座(出前講座など)	※開催頻度:通年受付							
高齢者サロン及び老人会等を対象に、介護予防講座(フレイル予防、お口の健康講座など)を実施。	16回	183人	4回	37人	4回	68人	25回	
2) フレイル予防教室(高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施)	※開催頻度:年3~4回シリーズ							
地域の通いの場を対象に運動や低栄養などフレイル予防に係る健康教育・健康相談を実施。	3か所 (12回)	92人	3か所 (13回)	110人	2回シリーズ			
					2か所	56人		
					6回シリーズ			
					1か所	107人		

事業内容	令和5年度			令和6年度			令和7年度			目標値(R8)		
	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数
地域介護予防活動支援事業												
1) 地域つながりサロン(介護予防教室) 【事業委託:町社会福祉協議会】 ※開催頻度:週1回～月1回												
地域のお世話役を中心に、参加者で話し合いながら住民主体の活動を目指し取り組んでいる。(運動、レクリエーション、手工芸、調理実習など)	36 か所	697人	6,523 人	34 か所	672人	7,150人	34 か所	650人	6,930 人	37 か所		
2) いきいき百歳体操 ※開催頻度:週1～2回												
高知市で開発された筋力アップ体操。DVDを見ながら手首、足首におもりをつけて体操を行っている。	24 か所	335人	9,328 人	23 か所	312人	9,755人	25 か所	330人	9,900 人	25 か所		
3) シルバーリハビリ体操教室 (実施会場)各地区集会所など												
関節や筋肉の動きを良くすることを目的とした「いつでも、どこでも、一人でも」できる介護予防体操で、シルバーリハビリ体操3級指導士が体操指導を実施。	29 か所	—	1,155 人	23 か所	—	977人	20 か所	—	1,000 人	26 か所		
◎令和6年能登半島地震後、避難所にて体操実施。 (実施会場)老人福祉センターゆうゆう、カルチャーセンター飛翔	2か所	—	248人	—	—	—	—	—	—			
4) 自主グループ活動 (実施期間) R6.1.10～3.9まで												
①和楽家 介護予防サポーター養成講座修了者が介護予防の自主活動を行っている。(月2回開催)	19回	16人	170人	18回	17人	286人	20回	12人	229人			
②中能登町健康友の会 NPO法人たすけ愛が行っている介護予防自主活動グループ。体操教室・脳トレ教室・カフェを行っている。(月3回開催)	33回	34人	950人	35回	34人	1,083人	30回	30人	660人			
5) 介護予防ポイント事業												
高齢者が主体的に健康づくり・介護予防に取り組めるよう、介護予防・健康づくり活動にポイントを付与する。15ポイントで1,000円商品券と交換(上限30ポイント)	* 令和7年度事業開始 ・対象活動:地域つながりサロン、百歳体操、シルバーリハビリ体操、自主活動グループ(健康友の会、和楽家)、町出前講座(介護予防事業)、町が実施する介護予防事業 ・参加団体数:60団体 ・参加者:654人											
地域リハビリテーション活動支援事業												
1) シルバーリハビリ体操3級指導士養成講習会												
高齢者の介護予防と地域での互助力を高めることを目指し、介護予防体操「シルバーリハビリ体操」を普及するボランティア「シルバーリハビリ体操指導士」を養成する。	開催回数	1クール(全8回)		開催なし		開催なし						
	養成者数	6人		—		—						
	養成者累計	60人		60人		60人						
	活動者数	41人		41人		41人						
2) シルバーリハビリ体操3級指導士の活動支援												
全体連絡会や代表連絡会を開催し、各グループの活動について情報共有する。また、研修会を通して体操指導の質を高める。	・代表連絡会3回 ・活動支援(随時)		・全体会・代表連絡会4回 ・通いの場運営支援3回 ・活動支援(随時)		・代表連絡会4回 ・通いの場運営支援3回 ・活動支援(随時)		・全体連絡会3回 ・活動支援(随時)					
3) シルバーリハビリ体操2級指導士養成講習会												
3級指導士のスキルアップとして、高齢者の特性や体操の組み立て方、教室の運営などを学び、今後の活動に役立てる。	開催回数	—		—		全4回コース						
	養成者数	—		—		20人						

事業内容	令和5年度			令和6年度			令和7年度			目標値(R8)		
	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数	開催回数	実人数	延人数
地域リハビリテーション活動支援事業												
4)いきいき百歳体操リハビリ支援												
いきいき百歳体操教室へのリハビリ専門職による体操支援	—			15回			5回			25回		

○地域つながりサロンやいきいき百歳体操など地域の通いの場では、お世話人の引継ぎ者がいない、新たな参加者がいないなど活動継続が困難となるグループがあるなど課題はあるが、今年度、いきいき百歳体操は新規立ち上げが3グループあり、住民の主体的な介護予防活動が継続されるよう活動支援を行った。  
○シルバーリハビリ体操3級指導士は、ひきつづき地域の通いの場で体操普及活動を行った。また、通いの場の運営支援として各グループで研修

#### 4. 任意事業(地域包括支援センターの取組み)

高齢者が要介護状態、要支援状態となることを予防する、または、これ以上悪化することを防止する

##### (1)家族介護者支援

事業内容	令和5年度		令和6年度		令和7年度		目標値(R8)	
	参加延人数	開催回数	参加延人数	開催回数	参加延人数	開催回数	参加延人数	開催回数
家族支援事業								
①家族介護者教室・交流会 介護者が日頃の介護から一時的に離れ、心身のリフレッシュを図るとともに、介護者同士の交流を深める。また、介護の知識を学ぶことにより、今後も在宅介護が継続できるように支援する。	48人	5回	51人	5回	45人	4回	6回	
②男性介護者交流会 ・男性の料理教室 ・介護者同士の情報交換	5人							

※R6年度から①②は合同開催

○ 家族介護者教室では、認知症疾患医療センターから精神保健福祉士を講師に迎えた会の参加者数が増え、認知症介護への関心の高さがうかがえた。引き続き、介護者の心身のリフレッシュを図り、介護者同士の交流などを通して家族介護者支援に取り組む。

#### 5. その他

##### (1)地域看護学実習の受け入れ

- ・七尾看護専門学校 7名
- ・田鶴浜高校衛生看護科専攻科 11名

(2)地域密着型介護保険施設における運営指導 3事業所(GHなごみの里鹿島、GH鹿寿苑、社協居宅)

(3)ひきこもり支援における支援者会議への参加 第1回:8月18日 第2回:3月18日予定

#### 6. 中能登町地域包括支援センターについて

日常生活圏域 : 1圏域

設置 : 直営1か所

名称 : 中能登町高齢者支援センター

職員配置:

保健師	3名
社会福祉士	2名
主任介護支援専門員	2名
介護支援専門員	1名(会計年度任用職員)